

二松學舎大学

創立130周年記念若手研究者論文募集

本学は、明治10（1877）年、学祖三島中洲の「東洋固有の文化を学ぶことこそ我が国本来の姿を知り得ること」という理念によって作られた漢学塾「二松学舎」に始まり、平成19（2007）年10月10日に満130年目の創立の日を迎えます。明治初期の欧米一辺倒の文明開化の日本の社会に対する警鐘として、日本人がその歴史で抛っていた東洋思想の重要性を教育しようとした学祖の目的は、一つの大きな意義を持つものでした。本学が今、国文学専攻と中国学専攻から成る文学研究科と、国際政治経済学研究科の二つの大学院を持つのも、東アジアの思想・文化・社会を中心に据えた学祖の理念の実現を期しての故であります。

ここに、創立130周年の日を迎えるに当たり、文学研究科はこの理念の今日的意義を再検討・再構築することに努めております。そのことの一環として、漢字・漢文文化に基づく国文学、中国文学・思想研究に対する、若手研究者の学術論文を募集します。国際政治経済学研究科は日本とそれに続くアジア諸国の驚くべき興隆の中で、新しい文化・社会科学・思想の研究・創造に励んでおります。そこで斯学の発展の為に国際政治・経済・法律に関し、「21世紀の東アジアの興隆に果たす日本の役割」というテーマで、広く若手研究者の学術論文を募集します。力作を多数寄せられることを期待します。

1. 募集部門

- A. 国文学に関する論文
- B. 中国学に関する論文
- C. 国際政治経済（経済・ビジネスと政治・法律）に関する論文

2. 応募資格

平成19年7月末日現在、40歳以内の国内居住の大学院生・若手研究者

3. 応募締切り

平成19年7月末日

4. 投稿規定

「創立130周年記念若手研究者論文投稿要領」による。（別添参照）

5. 審査

審査は、学内外の専門家からなる審査会において募集部門ごとに行う。なお、国際政治・経済（経済・ビジネスと政治・法律）部門の論文については、本学国際政治経済学研究科の教員の他に学外審査員として下記の専門家が審査に当たる。

<国際政治経済（経済・ビジネスと政治・法律）部門の論文外部審査員（五十音順）>

- 江夏 健一 氏（早稲田大学商学学術院教授 早稲田大学副総長常任理事 国際ビジネス研究会会長等歴任）
- 大山 道広 氏（東洋大学教授 慶應義塾大学名誉教授 日本経済学会会長・日本国際経済学会会長等歴任）
- 小倉 和夫 氏（国際交流基金理事長 前駐仏・駐韓大使）
- 佐々木 毅 氏（学習院大学法学部教授 前東京大学総長）

6. 表彰

<各部門>

最優秀賞：1名 優秀賞：1名 佳作：若干名

<賞状 賞金>

最優秀賞：10万円 優秀賞：5万円 佳作：3万円

※入賞者には、10月初旬に文書で通知します。

7. 入賞者及び入賞論文の発表

入賞者は本学のホームページ及び広報誌において発表する。入賞論文は総て本学紀要に掲載する。

国文学・中国学部門の入賞論文は、本学の大学院紀要『二松』に掲載し、国際政治・経済（経済・ビジネスと政治・法律）部門の入賞論文は、本学大学論集『国際政治経済論集』に掲載する。（いずれも平成20年3月31日発行予定）

※入賞し上記の本学紀要に採録された論文については、その著作権は著者に属し、編集出版権と複製権は二松学舎大学に帰属します。

8. 提出先（お問合せ先）

二松学舎大学 教学部 学務課 宛

〒102-8336

東京都千代田区三番町6-16

TEL 03-3261-1285

FAX 03-3261-7413

E-mail gakumu@nishogakusha-u.ac.jp

※本学に論文を郵送する際に履歴書（様式自由）を必ず添付してください。

なお、下記事項は必ず明記されるようお願いいたします。

- ①氏名（ふりがな）
- ②生年月日（運転免許証など生年月日を証明できるもののコピーも併せてご提出ください。）
- ③所属（大学・大学院・研究所等を明記してください。）
- ④最終学歴
- ⑤職歴
- ⑥現住所・電話番号（迅速かつ確実に連絡が取れる場所を明記してください。）

※封筒に「創立130周年記念若手研究者論文 ○○○部門」と朱書きの上、送付願います。

※投稿要領にも明記しておりますが、電子メールでの論文提出は認めておりません。必ず郵送をお願いいたします。

※お送りいただいた論文は返却しません。ご了承ください。

ご提出いただいた個人情報に関しては、本件以外には利用いたしません。



二松學舎大学